



このQRコードは
メーカー管理用です。

保証書付

洗面器セット

品番
YL-A401JYC*
YL-A401FYC*
YL-A401SYAC*
YL-A401SYBC*

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書を
お渡しください。

もくじ

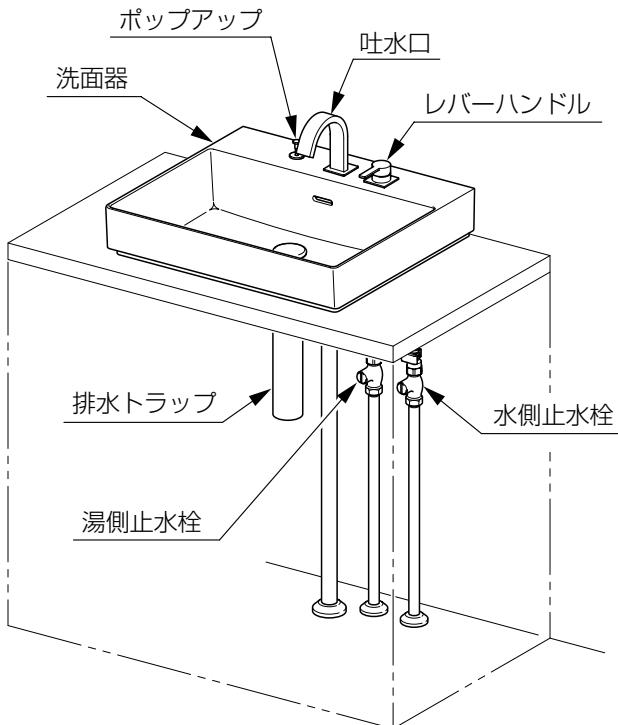
各部の名称	2
安全上のご注意	3
ご使用前に	8
ご使用方法	9
お手入れ方法	12
冬期凍結の恐れがある場合	23
長期間使用しない場合	26
修理を依頼される前に	27
アフターサービスについて	29
仕様	30
保証書	31

●各部の名称

各部の名称

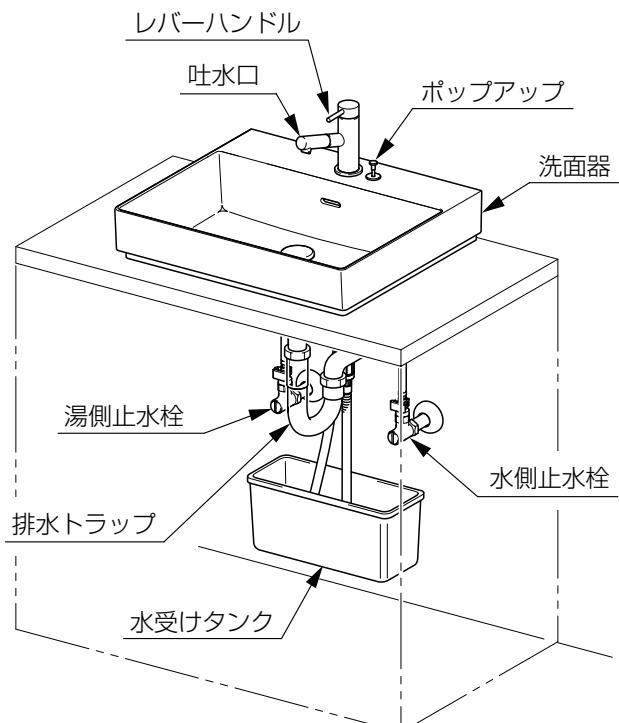
【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）】

※YL-A401JYCQ(C)V



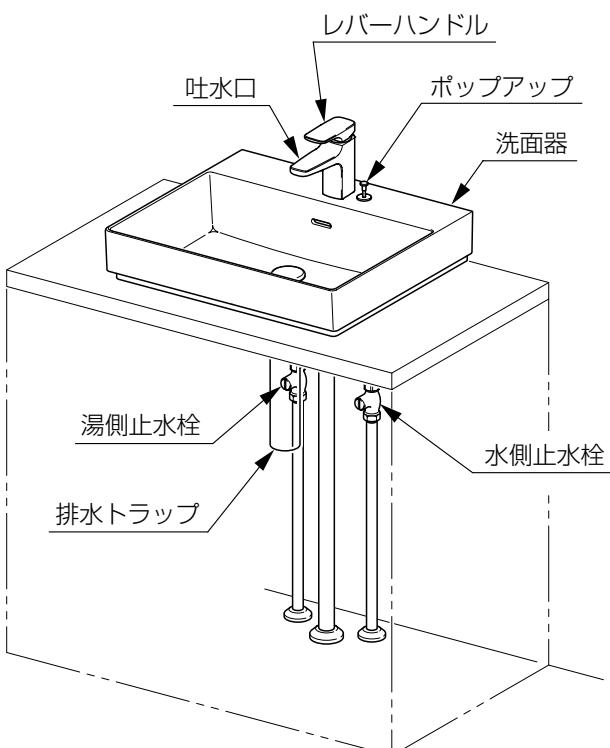
【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）】

※YL-A401FYCC(C)V

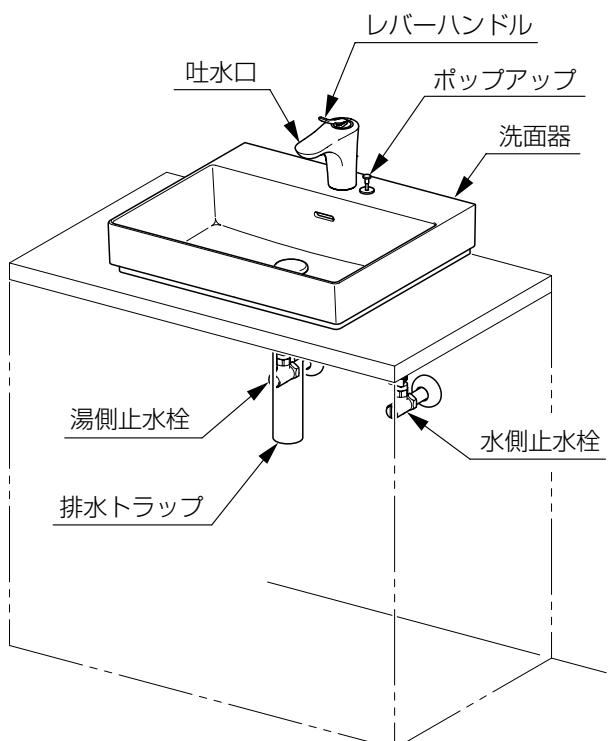


【シングルレバー混合水栓】

※YL-A401SYACQ(C)



※YL-A401SYBCG(C)



●安全上のご注意(お使いになる前に必ずお読みください。)

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



..... 「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



禁止

..... 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



分解禁止

..... 「分解してはいけません！」



水場使用禁止

..... 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」



接触禁止

..... 「指示した場所に触れてはいけません！」



指示実行

..... 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告：ヤケドをしないために

修理技術者以外の人は、取扱説明書に記載された事項以外では、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※ケガをする恐れがあります。



分解禁止

小さいお子さまだけでの使用は避けてください。

※ヤケドやケガをする恐れがあります。



禁止

お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。

※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。



指示実行

ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを取り外さないで止水栓を閉めてから行ってください。 (P.15参照)

※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

給湯温度は最高85°Cまででお使いください。

※85°Cより高温でご使用になると器具の寿命が短くなり、破損して、ヤケドをする恐れがあります。

なお、安全のため60°C給湯をおすすめします。



指示実行

お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。

その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。

※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。



指示実行

お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。

※高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。



指示実行

高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。

※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

※次の使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。



指示実行

他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがありますので注意してください。

※同時使用際に充分注意しないとヤケドをする恐れがあります。



指示実行

水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。

※ヤケドをする恐れがあります。



接触禁止

給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。

※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



指示実行

！警告：ヤケドをしないために

給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。

※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



指示実行

高温の湯をお使いのときには、吐水口付近は高温になって
います。直接、肌を触れたりしないでください。

※ヤケドをする恐れがあります。



接触禁止

！注意：正しくお使いいただくために

水道水以外は使用しないでください。

※内部の腐食により、破損や漏れ、故障の原因となります。



禁止

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使
用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。

※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。



禁止

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたたり、固いものをぶつけたり、
冷水・熱湯などをかけたりしないでください。

※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。



禁止

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。

※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。



禁止

カウンターや洗面器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。

※変形や破損してケガをする恐れがあります。



禁止

洗面器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。

※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

※家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



禁止

洗面器にひびが入ったままで使用しないでください。

※洗面器が割れてケガをする恐れがあります。



禁止

レバーハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。

※急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。

※急な操作を行うと、洗面器の外へ水が飛び出て、家財などを濡らす財産損害
発生の恐れがあります。



指示実行

水が洗面器内に残っているうちにレバーハンドルのON、OFF操作をくり返さないでください。

※洗面器の外へ水が飛び出て、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



禁止

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

大量に泡を流さないでください。

※石けんの種類によってはオーバーフロー穴から泡が出ることがあります。
(品質不良ではありません)



指示実行

定期的に、配管の漏水やガタつきがないか確認してください。

※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って洗面器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

※排水管が詰まり排水があふれる恐れがあります。



指示実行

レバーハンドルを操作するときは、レバーを持って操作してください。

※レバー以外をつかんで操作すると、指をはさんでケガをする恐れがあります。



指示実行

配管からの漏水を起こすことがありますので、レバーハンドル操作の急閉止はしないでください。

※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。

※メッキ面のハガレやキズで手をケガする恐れがあります。



指示実行

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。

※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。



禁止

ぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。

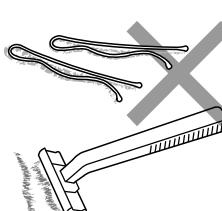
※破損しケガをする恐れがあります。



禁止

ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しないでください。

※サビが取れなくなる恐れがあります。



指示実行

吐水口部引出し口に直接水をかけないでください。

※水がキャビネット内に侵入し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



禁止

キャビネット内の物を出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなどホースに無理な力が加わらないようにしてください。

※ホースに無理な力が加わり、給水・給湯ホースの外れや損傷による漏水の原因になります。



禁止

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

洗面器は割れ物です。

施工後に施工段階での損傷がないことを確かめてください。

※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

ご使用中はその場を離れないでください。

※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

カウンターがぬれたらすぐにふき取ってください。

※木質でできていますので、水を含んでふくらんだり、表面材がはがれたりする恐れがあります。



指示実行

化粧品・除光液・うがい薬などが付着したらすぐにふき取ってください。

※除光液、クレンジング材、口紅などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、シャンプー、リンス、芳香剤、漂白剤、洗剤など付着した汚れによっては、お掃除が必要な場合があります。



指示実行

その場合は中性洗剤でこまめに清掃してください。

陶器のお手入れには次の洗剤を使用しないでください。

- ・強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、研磨剤入りの洗剤

※陶器表面を傷つけてしまいます。

- ・撥水作用や表面コート作用のある洗剤、お掃除道具



禁止

※陶器表面を成分が覆ってしまい防汚性能が発揮できなくなります。

⚠ 注意：凍結防止のために

【一般地仕様の場合】凍結のおそれがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。 (P.23、P.24参照)



指示実行

※変形したり故障して、漏水の原因となります。

【寒冷地仕様の場合】凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。 (P.23～P.25参照)



指示実行

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結が予想される場合は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。(寒冷地仕様の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください) (P.23～P.25参照)



指示実行

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

寒冷地用の場合、水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。



禁止

※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

寒冷地用の場合、凍結時に解氷機をご使用の際は、水栓本体部には絶対に通電しないでください。



禁止

※発熱により水栓が破損して漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●ご使用前に

■給湯機器と組み合わせてご使用の場合

- 給湯圧力が低いときや水温が高いときは、給湯機器が着火しない場合があります。（直圧式給湯機器の場合）この場合は給湯機器の設定温度を下げ、レバーハンドルを少し湯側へ回してご使用ください。



※流量が不足し給湯機器が着火しない場合は、「流量の調節」を参照し、定流量弁を取り外してください。（シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合）

- 能力切替付の給湯機器では、能力を季節に合わせてご使用ください。

※流量を絞って使用すると給湯機器が着火しない場合がありますので、ご注意ください。
(直圧式給湯機器の場合)

■流量の調節【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合】

止水栓を全開にします。

※節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量（約4.5L/分）は出ません。
※流量の目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約40秒です。

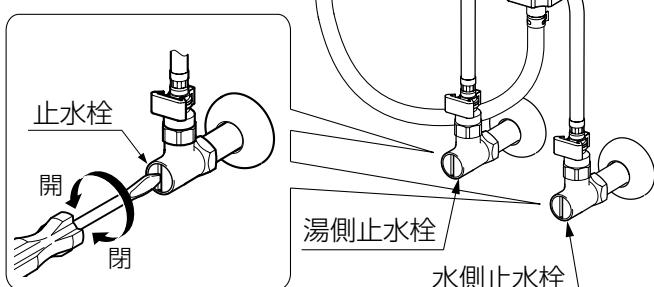
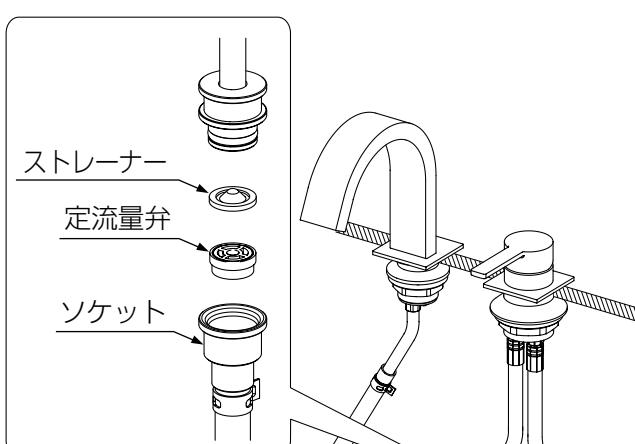
●流量が不足している場合

- (1) 低圧現場または減圧弁付きの電気温水器と組み合わせる場合は、定流量弁を取り外してください。

※取り外し方法は、P.15「ストレーナーの掃除」の要領で行ってください。

- (2) 定流量弁を取り外したあと、流量の調節を行ってください。

※流量の目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約45秒です。



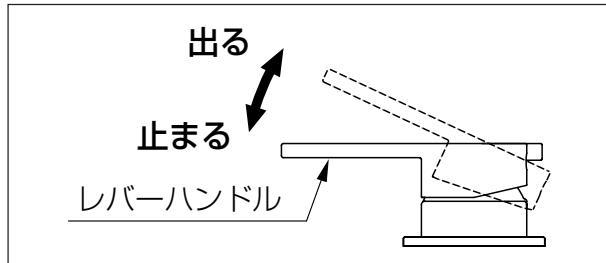
●ご使用方法

1. 水栓タイプ別のご使用方法

【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合】

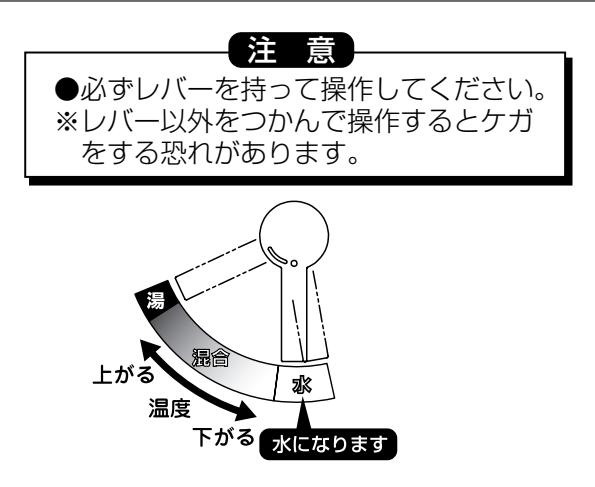
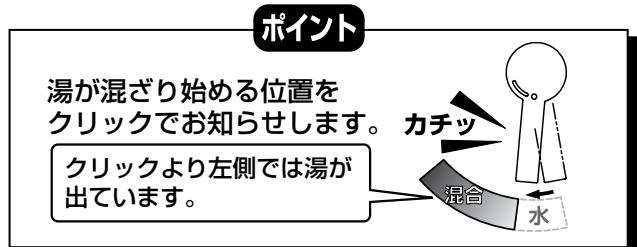
■吐水量の調節

- レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で吐水量を調節できます。
レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。



■お湯の温度調節

- レバーハンドルが使いやすい正面位置で水になるので、無意識での湯の使用や、無駄な給湯器の着火を抑制できます。左方向へ回すと吐水温度が上がります。

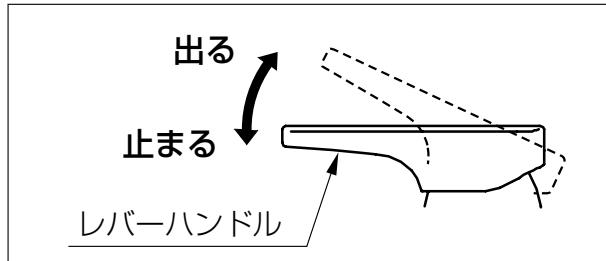


ご
使
用
方
法

【シングルレバー混合水栓の場合】

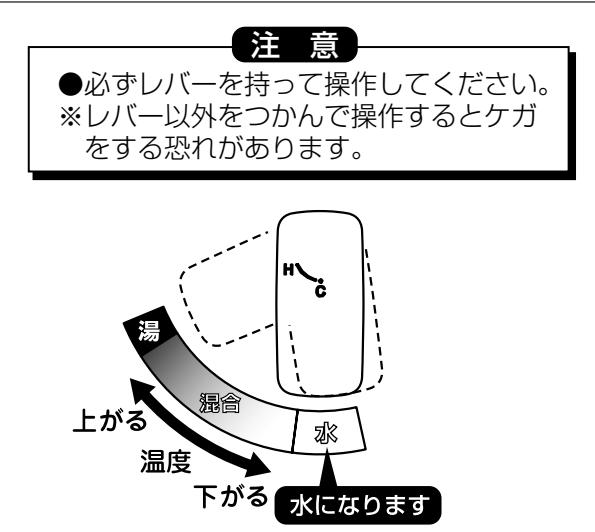
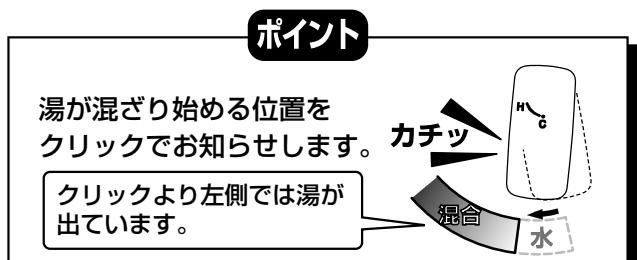
■吐水量の調節

- レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で吐水量を調節できます。
レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。



■お湯の温度調節

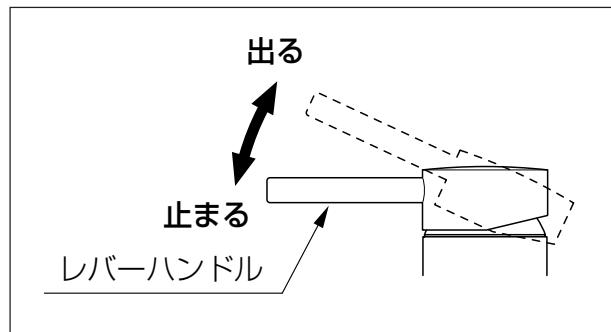
- レバーハンドルが使いやすい正面位置で水になるので、無意識での湯の使用や、無駄な給湯器の着火を抑制できます。左方向へ回すと吐水温度が上がります。



【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

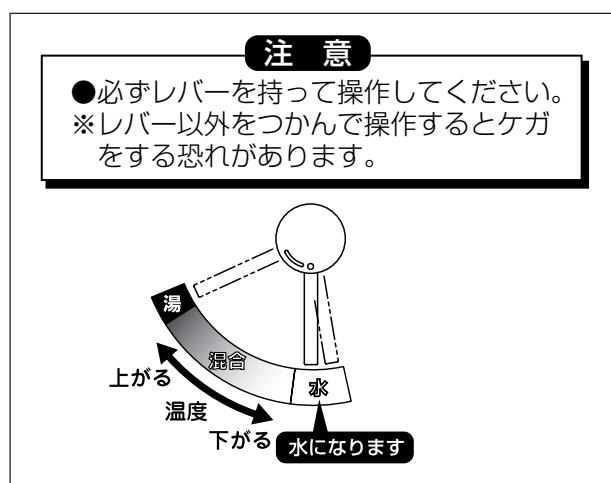
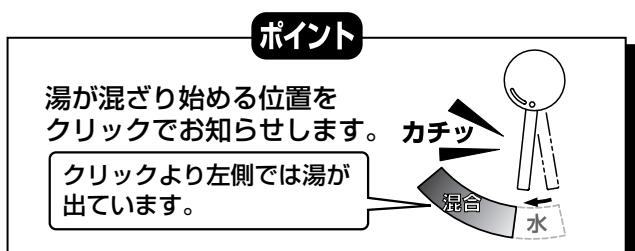
■吐水量の調節

- レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で吐水量を調節できます。
レバーハンドルはどの位置でも下げるとき止水します。



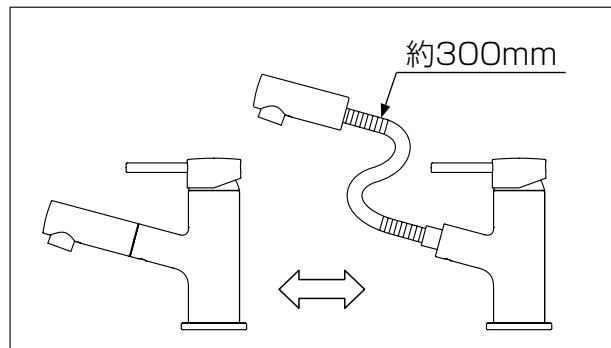
■お湯の温度調節

- レバーハンドルが使いやすい正面位置で水になるので、無意識での湯の使用や、無駄な給湯器の着火を抑制できます。左方向へ回すと吐水温度が上がります。



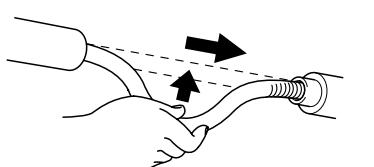
■ホース引出長さの調節

- 吐水口部は、最長約300mmまで引き出せます。お好みの長さでご使用ください。



ポイント

- 吐水口部の出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納してください。
- 寒い時期、吐水口部の出し入れが固いときは、しばらくの間ホースにお湯または水を通水してください。

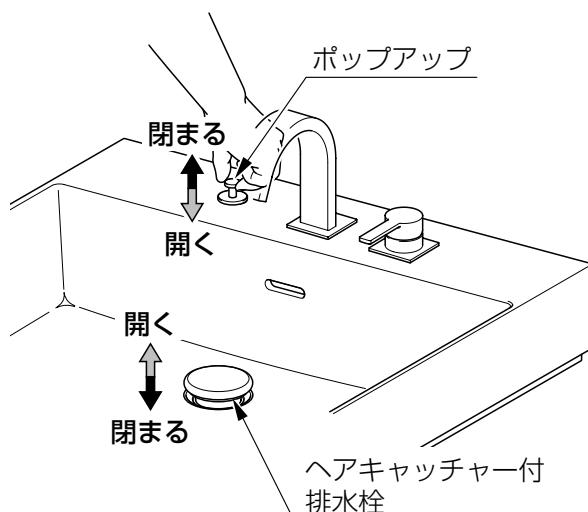


2. 各タイプ共通のご使用方法

■ヘアキャッチャー付排水栓の操作

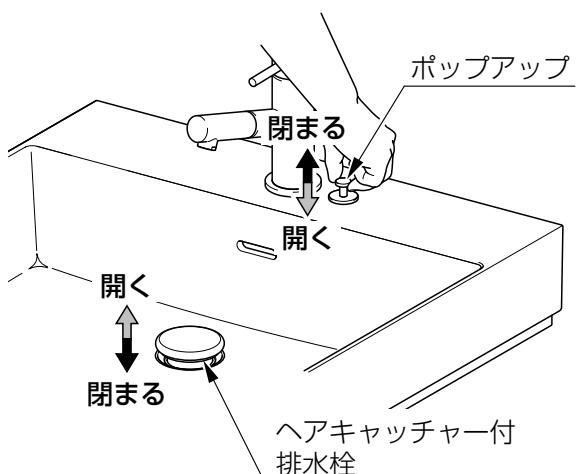
- ヘアキャッチャー付排水栓を閉める場合は、洗面器上のポップアップを引いてください。
- ヘアキャッチャー付排水栓を開ける場合は、洗面器上のポップアップを押してください。

【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合】



【シングルレバー混合水栓の場合】

【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】



※図は吐水口引出式の場合

■止水栓による流量調節の方法

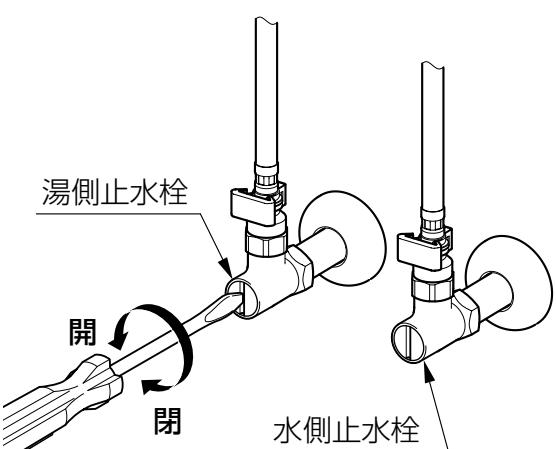
- 流量の調節は、止水栓を調節して行ってください。

※設置時にあらかじめ流量調節がしてあります。流量を変更したい場合は止水栓を調節してください。

※定流量弁が入っていますので、止水栓を一定以上開いても流量は変わりません。

※低圧現場で定流量弁が取り外されている場合、湯・水各々がレバーハンドル全開で約4.5L/min以下になるように、必ず止水栓で流量調節してください。吐水量が多くなると水はねが起こり、使用しづらくなります。

4.5L/minの目安：市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約40秒。



※図は壁給水の場合

- 水圧が高いところで使用される場合は、水側の止水栓を絞ってご使用ください。
湯と水の吐水量がほぼ同じになるように水の量を絞ってください。
※吐水量が多いと、レバーハンドルの吐水量調節がしにくい場合があります。

●お手入れ方法

日常のお手入れ

■洗面器

- 品番の最初に「Y」が付いている洗面器はアクアセラミック仕様です。

(例：YL-XXXX)

ハイパーキラミック仕様の洗面器は「Y」はありません。(例：L-XXXX)

お掃除はアクアセラミック仕様同様のお手入れをしてください。

- アクアセラミック仕様の場合

アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚れが落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。陶器表面に汚れが残ってしまう場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

- 次の洗剤、道具は使用しないでください。

- 強いアルカリ性の洗剤または漂白剤、フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）

※陶器表面が侵され、アクアセラミックの機能が損なわれます。

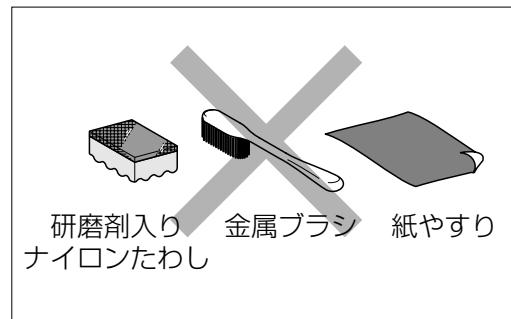
- 金属製のブラシや研磨剤入りの洗剤、お掃除道具

※陶器表面が傷つき、アクアセラミックの機能が損なわれます。

- 摥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具

※成分に陶器表面が覆われてしまい、アクアセラミックの効果が発揮できなくなります。

使用によって摥水してしまった場合は、メラミンスポンジや食器用中性洗剤で掃除することにより効果を復元できます。



●KILAMIC抗菌商品についての注意

- KILAMIC抗菌商品は、表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。

したがって感染などが防げるわけではありません。

- 抗菌製品技術協会の抗菌製品規格SIAAに適合した商品です。

KILAMIC抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌JIS規格（JISZ2801）からISO規格（ISO22196）になりました。

注意

- 表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。
 - ・中性洗剤以外の洗剤
 - ・酸、アルカリ、塩素系漂白剤
 - ・熱湯
 - ・クレンザー、磨き粉
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤
 - ・金属たわし、硬いブラシ、硬い布
- まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



■水栓金具

- 水栓の表面の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないとときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。

■排水トラップのお手入れ

洗面器、手洗器の水はけが悪くなった際は、市販の排水管洗浄剤（中性または弱アルカリ性）でお手入れしてください。

※お手入れ後は洗浄剤が中に残らないよう、水で十分洗い流してください。

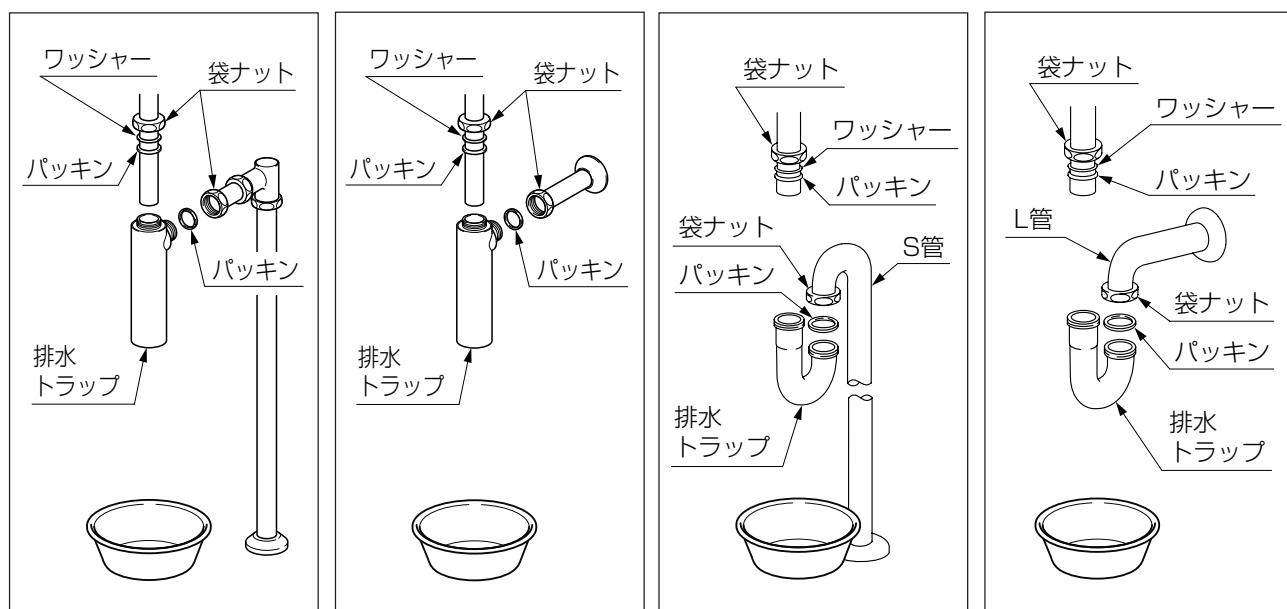
!**注意**

手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品、油類を流さない。

※手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などを濡らす物的損害発生の原因になります。



排水管洗浄剤を使用しても水はけが良くならない場合は、下記手順で排水トラップの掃除をしてください。



- (1) 排水トラップの真下に配管内の封水を受ける容器を置きます。
- (2) 袋ナットをゆるめて排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。
- (3) 排水管の掃除を行った後、再度ナット部をモーターレンチ等で締め付けます。
※パッキンの入れ忘れがないように注意してください。漏水の原因となります。
※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。
※袋ナットはモーターレンチ等でしっかり締め付けます。締め付けがゆるいと、漏水やトラップの脱落の恐れがあります。
- (4) 一度水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。

注意

上記確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくることがあります。
お手入れ後は必ず水を流して確認してください。

■ヘアキャッチャー付排水栓のお手入れ

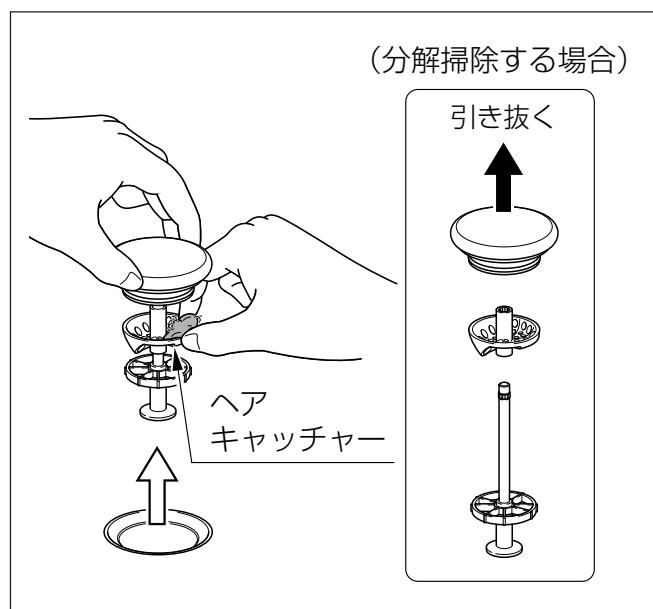
お手入れ方法

毎日のお手入れ

ヘアキャッチャーのゴミ、髪の毛を取り除き、水洗いをします。

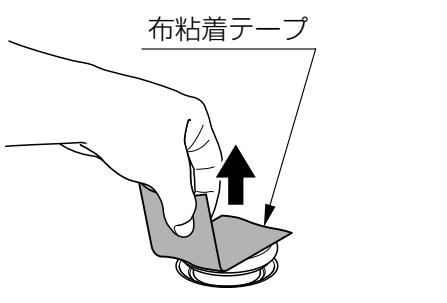
週1回のお手入れ

浴室用洗剤をつけた歯ブラシで、排水口や排水栓のヌメリを落とします。



ワンポイント

ヘアキャッチャーと軸の間に砂などがかむと、排水栓が上がらなくなることがあります。
そのときは、排水栓に布粘着テープを貼ったまま持ち上げて外してください。



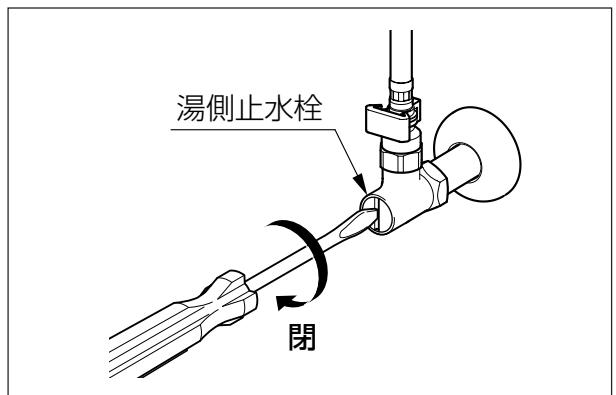
■ストレーナーの掃除【シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合】

ゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

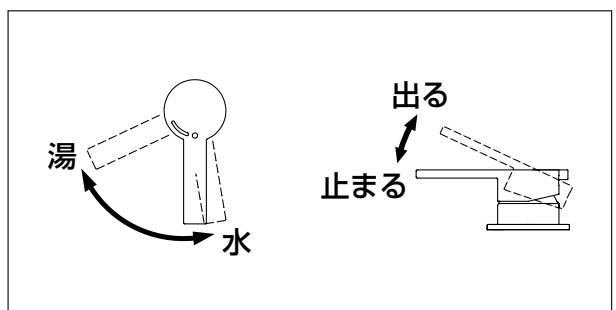
水栓内の残水がこぼれるため、洗面器等の水受けとタオルをご用意してください。

※先にストレーナーを取り外すと残水が勢いよく排出され、ストレーナーと定流量弁を紛失する恐れがあるため、フレキホースから残水を抜く作業（1～4）を行ってください。

- (1) 止水栓を閉じます。



- (2) レバーハンドルを湯水それぞれで開いて圧抜きをした後、レバーハンドルを閉じます。

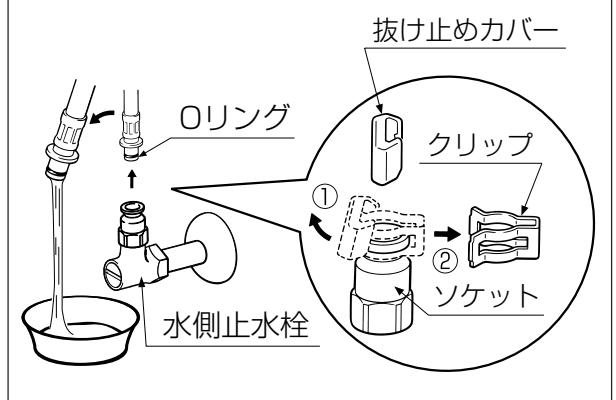


- (3) 洗面器等の水受けを止水栓の下に置き、水側の止水栓についているぬけ止めカバーとクリップを取り外し、フレキホースを取り外します。

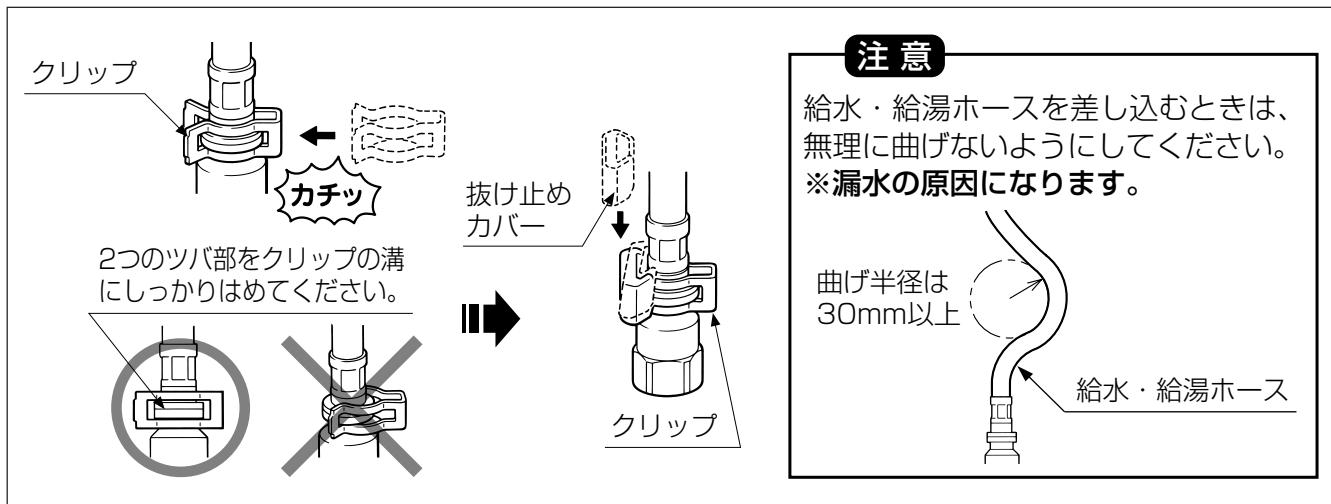
- (4) レバーハンドル側で開きフレキホースから出てくる残水を洗面器等の水受けで受け取ります。

注意

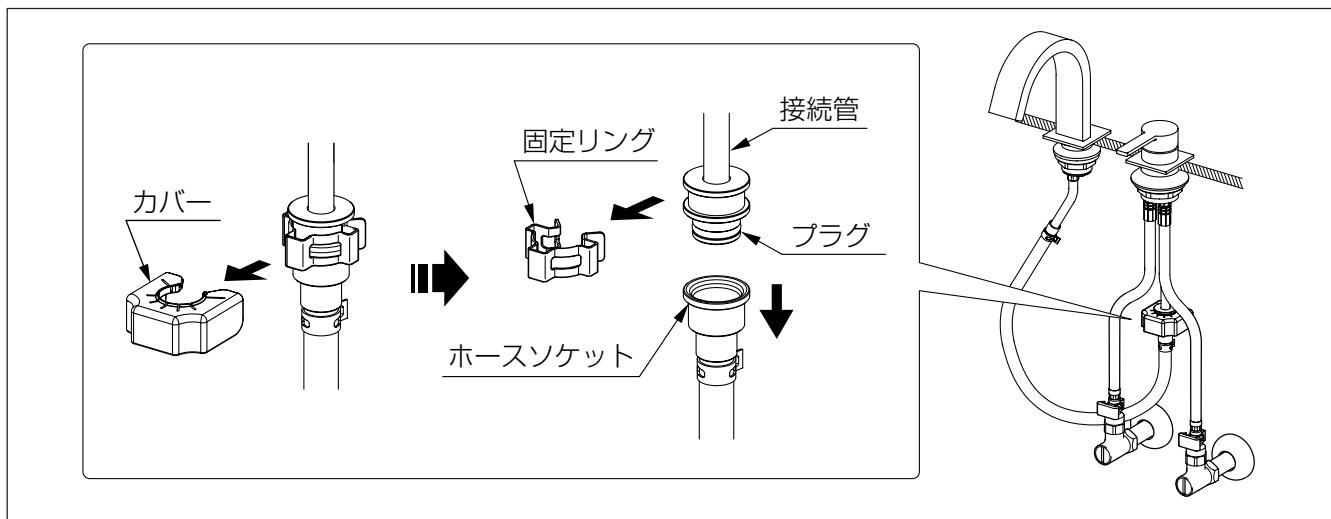
○リングを傷つけたり、ゴミかみをしないようにしてください。
※漏水の原因になります。



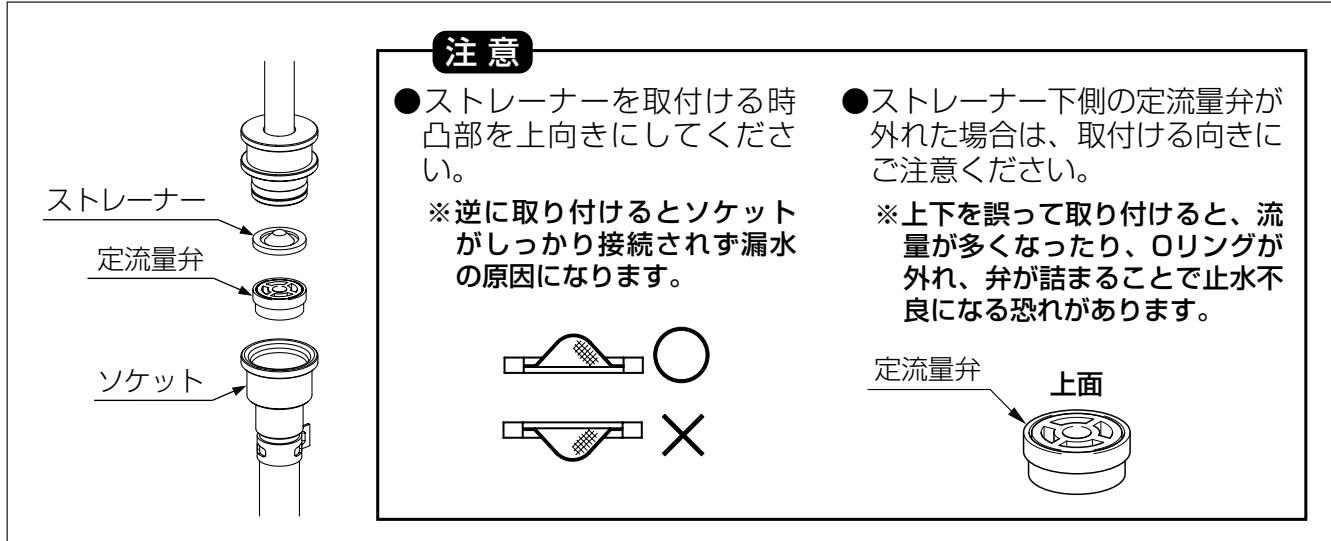
(5) フレキホースを水側の止水栓にクリップとぬけ止めカバーで取り付けます。



(6) カバーと固定リングを取り外し、ホースソケットを接続管プラグから取り外します。



(7) ストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。



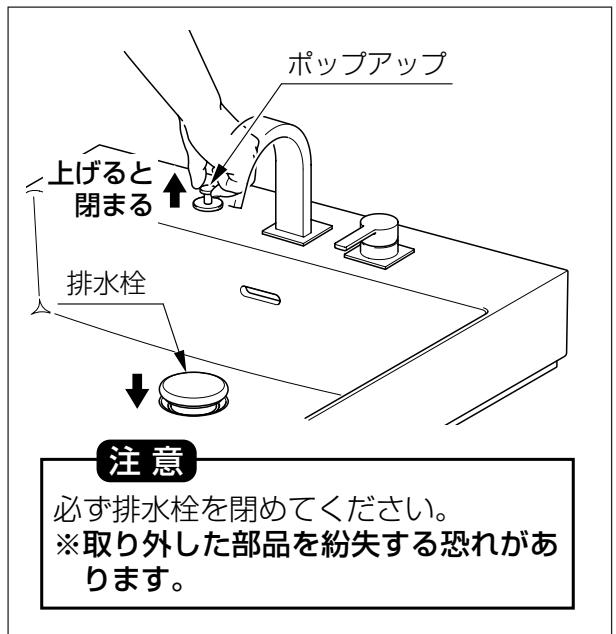
(8) ストレーナーを取り付け、ホースソケットを接続管プラグに取り付け、固定リング、カバーを取り付けます。

■整流口の掃除

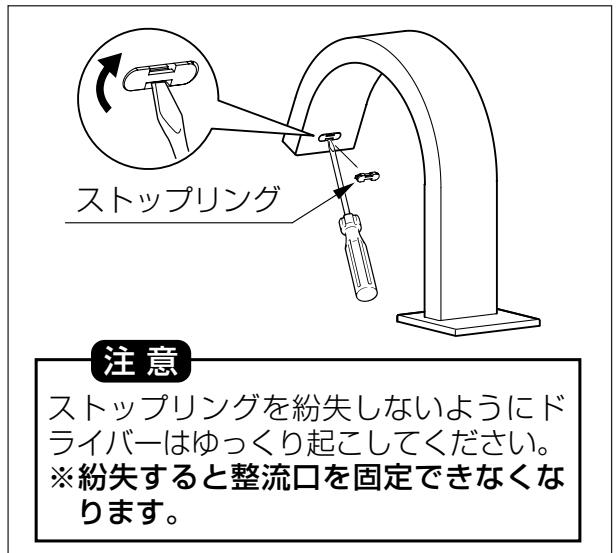
【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合】

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき整流口を次の要領で掃除してください。

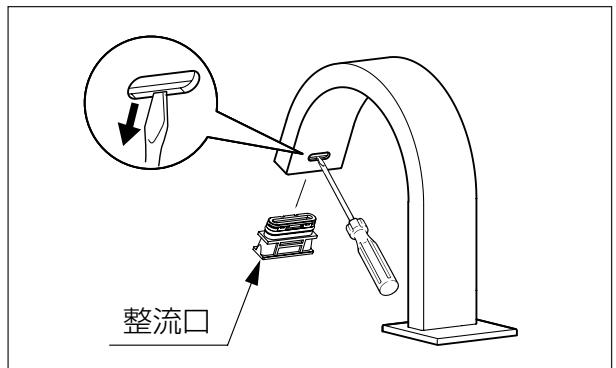
- (1) 排水栓を閉めます。



- (2) 小型のマイナスドライバーで吐水口裏のストップリングを外します。

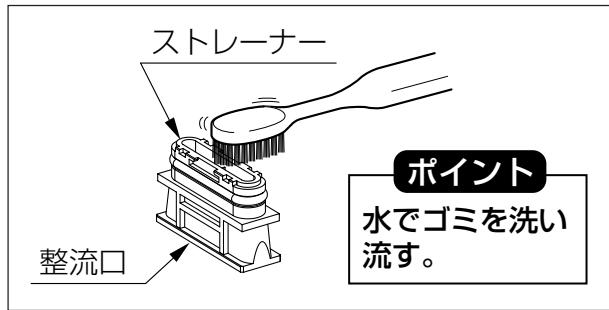


- (3) 整流口を小型のマイナスドライバーを使って手前に引き出します。



(4) 整流口のストレーナーを掃除します。

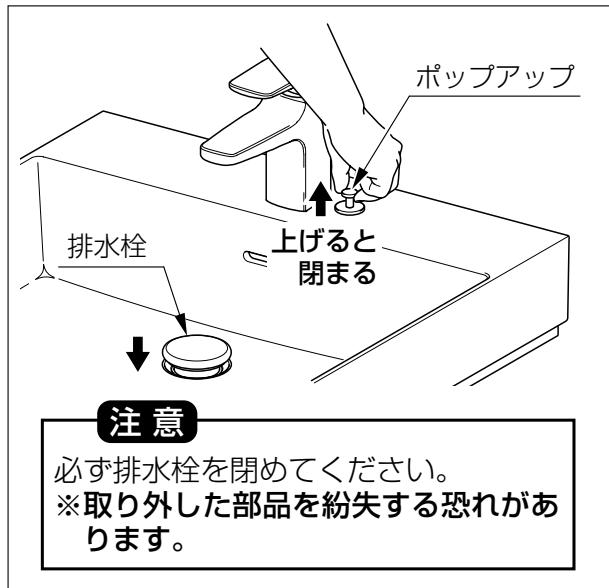
(5) 整流口を元のように吐水口に差し込み、ストップリングで固定した後、排水栓を開きます。



【シングルレバー混合水栓の場合】

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき泡沢口を次の要領で掃除してください。

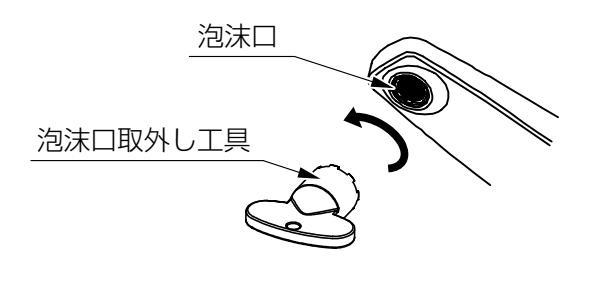
(1) 排水栓を閉めます。



(2) 付属の泡沢口取外し工具で泡沢口を回して外し、泡沢口を水で洗って掃除します。

注意

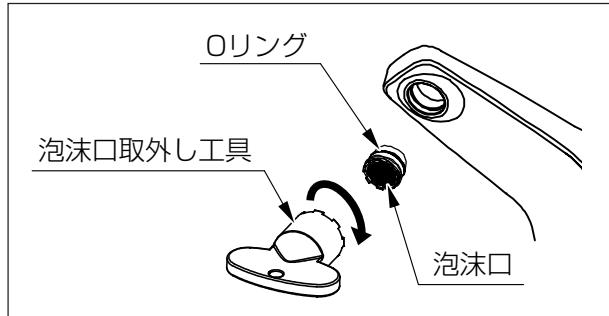
泡沢口のOリングを傷つけないように注意してください。
※漏水の原因になります。



(3) 付属の泡沢口取外し工具で、止まるところまで泡沢口をねじ込みます。

確認

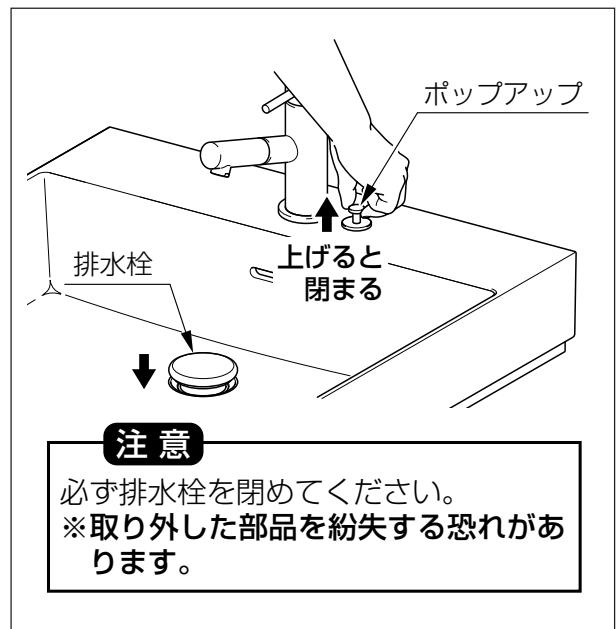
通水時に必ず水漏れがないことを確認してください。



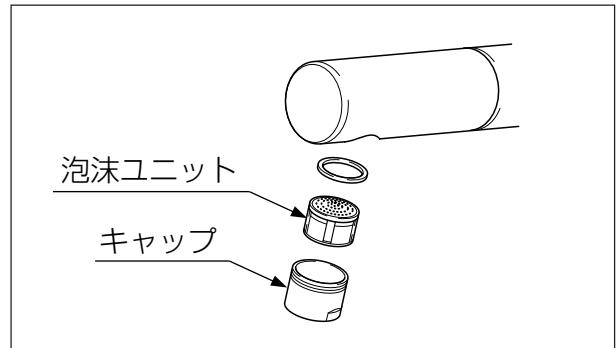
【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき泡沢口を次の要領で掃除してください。

- (1) 排水栓を閉めます。



- (2) 手で泡沢口部のキャップを回して泡沢ユニットを取り外し、泡沢ユニットを水で掃除します。



- (3) 取外しと逆の手順で戻します。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

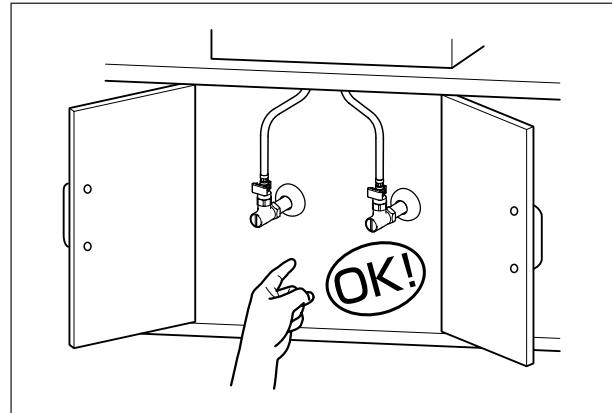
定期的なお手入れ

■配管まわりの水漏れ（年2回）

配管まわりの水漏れがないか確認してください。

※劣化・磨耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家具などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取扱店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

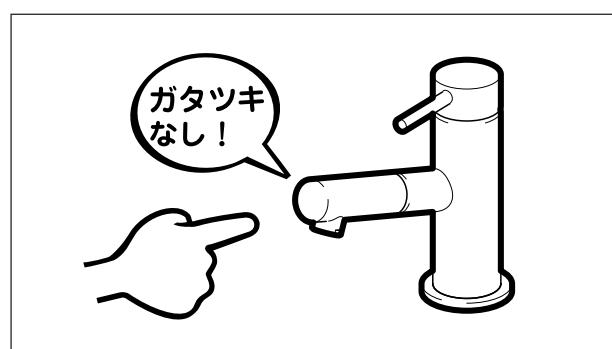


■水栓本体のガタツキ（年2回以上）

水栓本体にガタツキがないか確認してください。

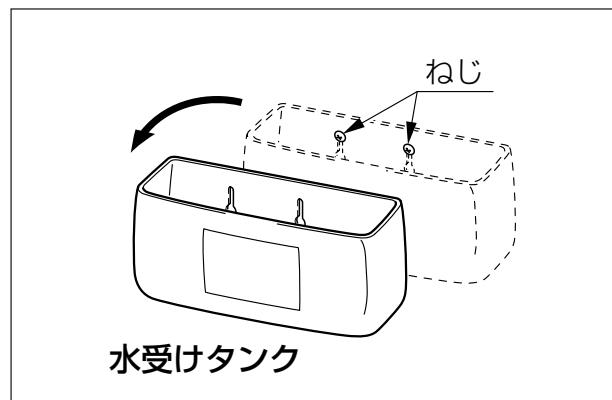
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取扱店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



■水受けタンクの点検（月1回程度）【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

- カウンター・陶器の下またはキャビネット内の水受けタンクを点検してください。水受けタンクに水が落ちていればタンクを取り外し、ふき取ってください。水をふき取った後は、水受けタンクを元通りにセットしてください。



■定期的な部品交換のお願い

「摩耗劣化する部品交換のお願い」

●部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。

●摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）

例) 逆止弁、レバーハンドル、吐水口、シャワーホース、バルブ部（シングルレバーカートリッジ）、パッキンなど

●部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

「定期的な点検・部品交換のめやす」

使用年

/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換(逆止弁は3年～5年)

買換え
ご検討

お手入れ方法

「逆止弁の交換（一般地仕様の場合）」

安全を確保するため定期的に逆止弁を交換してください。

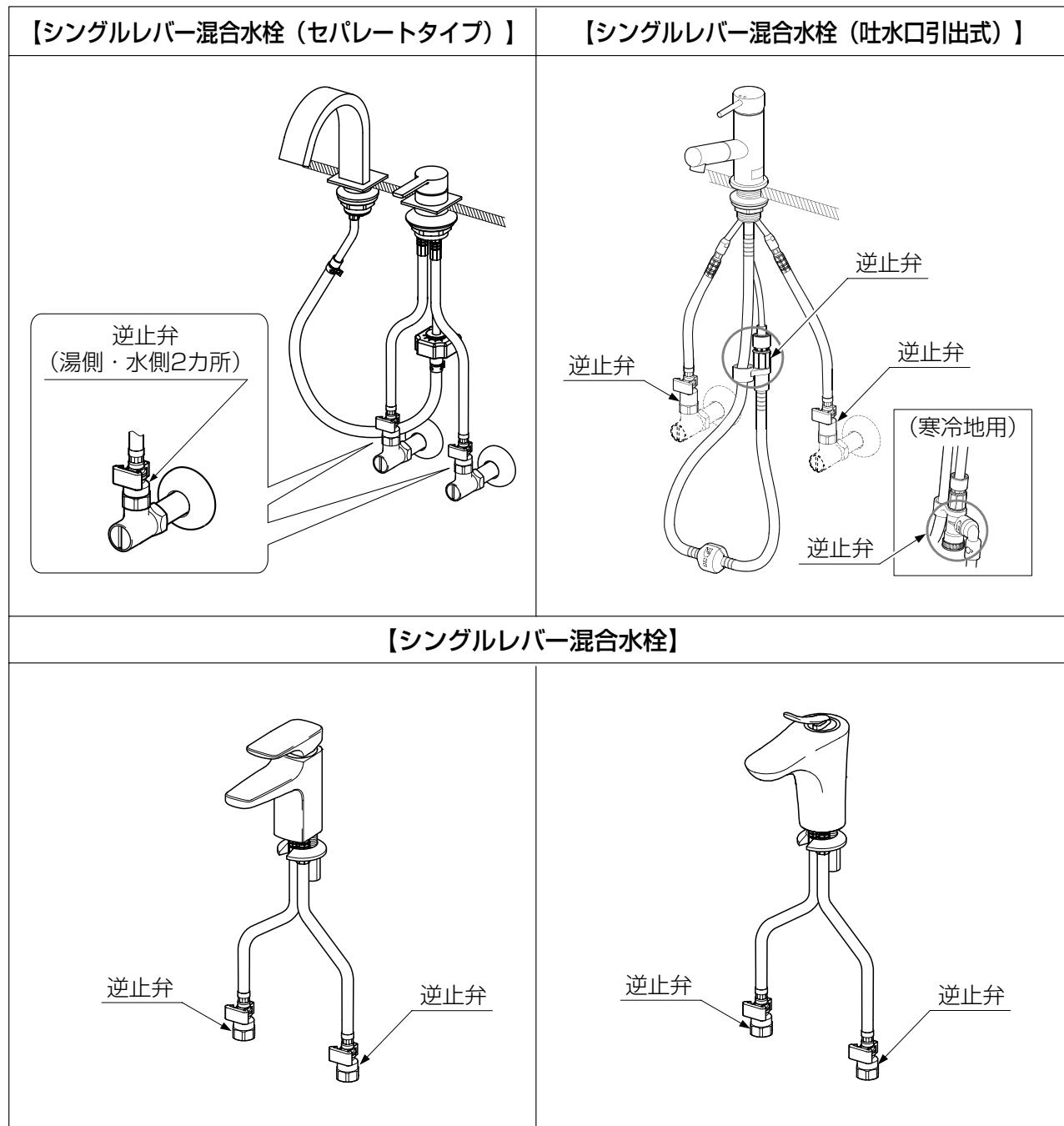
※逆止弁が正しく機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する恐れがあります。

交換時期：3～5年

※逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

0120-179-411

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料” + “出張料” + “部品代”で構成されています。



●冬期凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

■凍結予防のしかた

【シングルレバー混合水栓（セパレートタイプ）の場合】

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

(一般地用をご使用の場合)

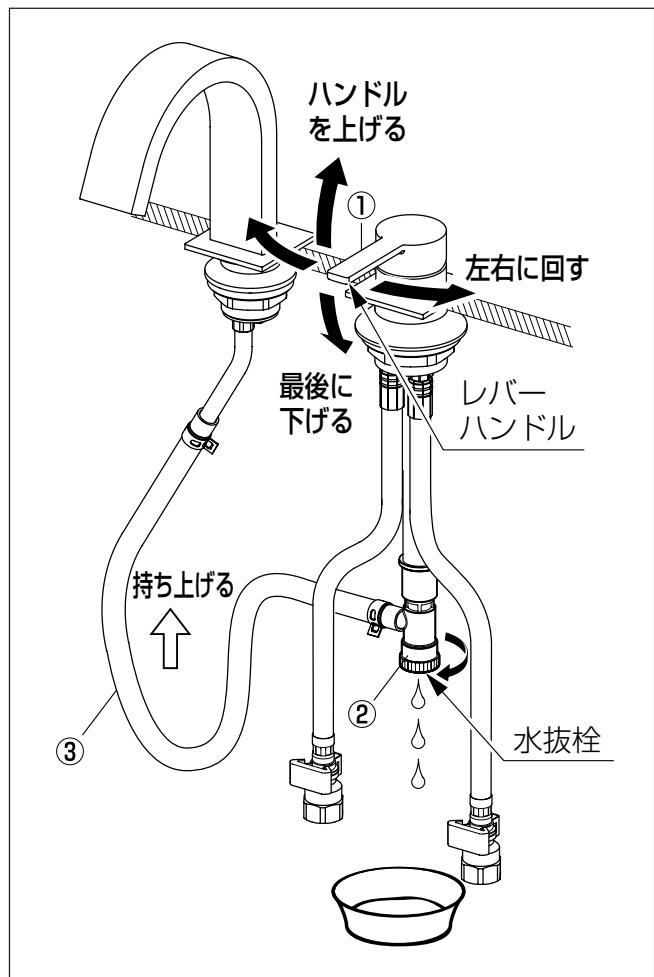
凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

(寒冷地用をご使用の場合)

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を水が出るまで回す。
4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
5. ホース③を水抜栓②より上に持ち上げ、ホースの中に残っている水を水抜栓②から出す。
※ホースがねじれた状態にならないようしてください。
6. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉める。
※水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。



【シングルレバー混合水栓の場合】

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

(一般地用をご使用の場合)

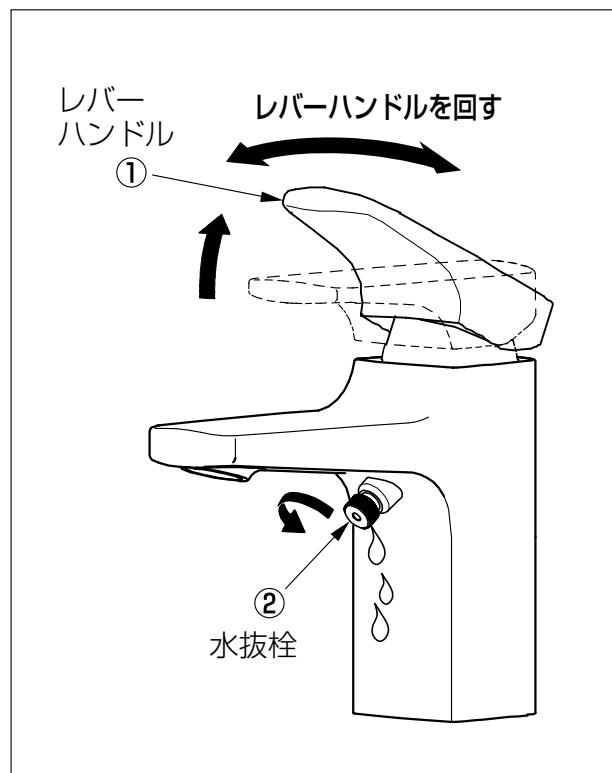
凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

(寒冷地用をご使用の場合)

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
 2. レバーハンドル①を中心位置に合わせ全開にする。
 3. 水抜栓②を開ける。
 4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
 5. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉める。
- ※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。
- ※水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。



【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

（一般地用をご使用の場合）

凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

（寒冷地用をご使用の場合）

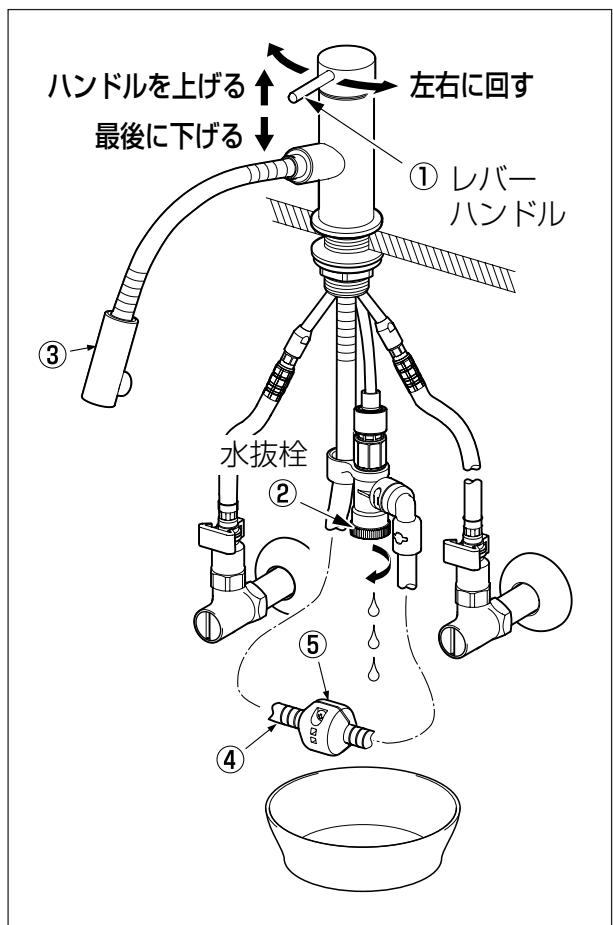
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を水が出るまで回す。
4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
5. 吐水口部③を引き出して振って水をよくきる。
6. ホース④を水抜栓②より上に持ち上げて、ホースの中に残っている水を完全に抜く。
7. 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉める。

※水抜き完了後は水抜栓②を閉めてください。

※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解放してしてください。

※ホースストッパー⑤を外した場合は、元の位置に取り付けてください。

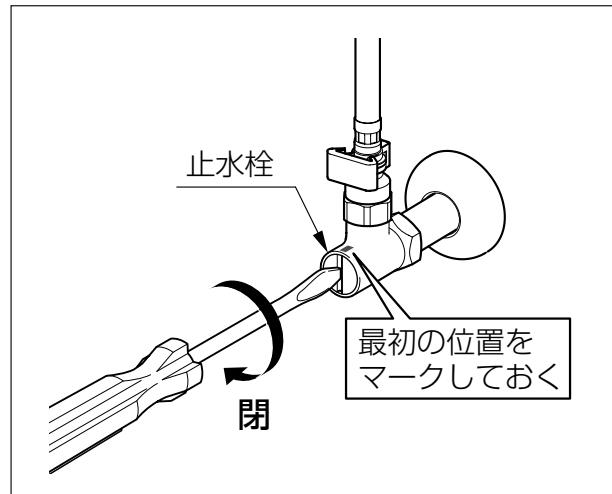


●長期間使用しない場合

■長期間使用しない場合（準備）

- 止水栓を操作して、水栓金具への給水を止めます。

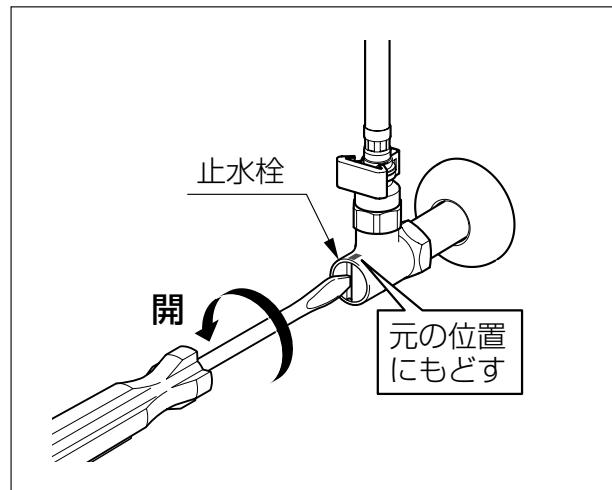
※このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので、再使用時、元の位置に戻す必要があります。



■再び使用する場合（試運転）

- 止水栓を操作して水栓金具への給水を行います。

※マークしておいた元の位置に止水栓を調節してください。



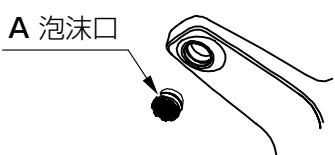
●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

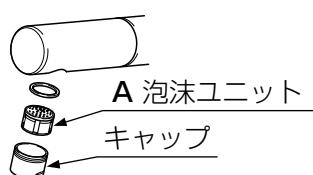
現象	確認内容	処置	点検箇所	参照ページ
水栓	吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く	— P.11
		レバーハンドルは閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける	B P.9、P.10
		断水中ではありませんか？	回復するまで待つ	— —
	流量が少ない	止水栓は全開にしていますか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	止水栓を全開にする	— P.11
		止水栓の調節は適正ですか？ (シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)	止水栓で流量を調節する	— P.11
		水圧が低くないですか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	定流量弁を取り外して止水栓にて流量の調節を行う	— P.11、P.16
		減圧弁付きの電気温水器と組み合わせていませんか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	定流量弁を取り外して止水栓にて流量の調節を行う	— P.11、P.16
		整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーの掃除をする	A、C P.17～P.19
		レバーハンドルを絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを開ける	B P.9、P.10
		能力切替付きの給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする	— —
	流量が多い	定流量弁が取り外されていますか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	定流量弁を正しくセットする	— P.16
		低圧の環境や電気温水器との組み合わせの場合、定流量弁取外し後、流量を調節しましたか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	止水栓で流量を調節する	— P.11
		止水栓の調節は適正ですか？ (シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)	止水栓で流量を調節する	— P.11
	吐水が乱れる	整流口、泡沢口、泡沢ユニットがよごれていますか？	整流口、泡沢口、泡沢ユニットの掃除をする	A P.17～P.19
	水を止めた後に、少しの間水が垂れる	整流口、泡沢口、泡沢ユニットの内部にたまつた少量の水が排出されるため、故障ではありません。	— —	
	水が止まらない	整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーの掃除をする	A、C P.17～P.19
		上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。		
	ハンドルが右側に回らない	レバーハンドルの操作位置は正しいですか？	レバーハンドルを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来シングルレバーと異なります	B P.9、P.10
	ハンドル操作が重い	レバーハンドルの操作が、使い始めより重くなる場合があります。ご使用していくうちに(0～6ヶ月程度)、内部の部品がなじむ現象で、故障ではありません。	B —	
	希望の温度が得られない	整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	整流口、泡沢口、泡沢ユニットまたはストレーナーの掃除をする	A、C P.17～P.19
		レバーハンドルの操作位置は正しいですか？	レバーハンドルを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来シングルレバーと異なります	B P.9、P.10
		湯側・水側の止水栓は全開にしていますか？ (シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)	止水栓を全開にする	— P.11
		湯側・水側の止水栓の調節は適正ですか？ (シングルレバー混合水栓の場合)	止水栓で流量を調節する	— P.11
		給湯機器から十分なお湯がきていますか？	給湯機器の温度設定を確認する	— —

現象	確認内容	処置	点検箇所	参照ページ
水栓	希望の温度が得られない	他所で同時に水栓を使用していませんか？	使用時には、他所の水栓を同時に使用しないようにする	— —
		整流口、泡沢口、泡沢ユニットにゴミ等が付着していませんか？	整流口、泡沢口、泡沢ユニットの掃除をする	A P.17~P.19
		レバーを湯側にし、しばらく水を流す。しばらく待ってもお湯が出ませんか？	節水仕様のため、冬場など配管内の冷えた水を排水するのに時間がかかり湯待ち時間が長く感じることがあります	B P.9、P.10
		シャワーホースを他部材が干渉してしていませんか？(シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)	シャワーホースのねじれ、吐出管の位置を調節し、シャワーホースと他部材が干渉しないようしてください。	— —
	異音がする	レバーハンドルを急閉止していませんか？	ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると発生します。止水栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉めてください	— —
		止水栓の調節は適正ですか？(シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)	水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。止水栓で流量を絞ることで流水音を低減することができます	— P.11
	排水口・排水管	排水しないあるいは排水がスムーズでない	排水栓のヘアキャッチャーにゴミ等で詰まっていますか？	排水栓の掃除をする
		排水管・ボトルトラップがゴミ等で詰まっていますか？	排水管・ボトルトラップの掃除をする	— P.13
	漏水する	接続部の袋ナットがゆるんでいませんか？	袋ナットを締めます	— P.13

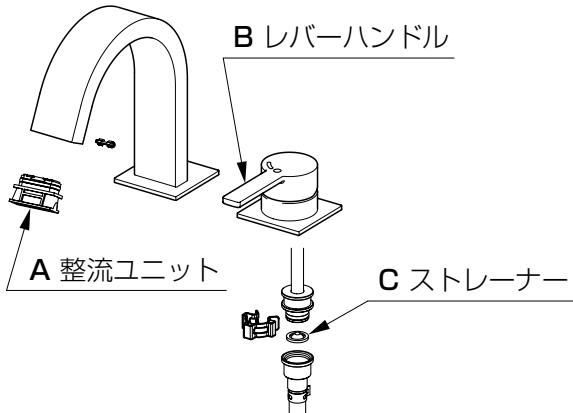
(シングルレバー混合水栓の場合)



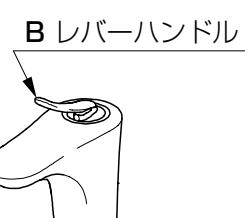
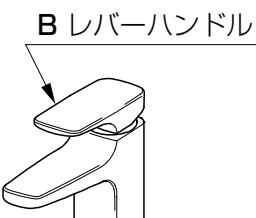
(シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)



(シングルレバー混合水栓(セパレートタイプ)の場合)



(シングルレバー混合水栓の場合)



(シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合)



*上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.27、P.28）を参照して確認してください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。



分解禁止

2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |

4. 部品の保有期間にについて

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●仕様

項目	洗面器セット
品番	YL-A401 ***
外形寸法 (カウンター上)	650mm×500mm×100mm
洗面器	陶器 (アクアセラミック)
水栓	シングルレバー混合水栓 シングルレバー混合水栓 (セパレートタイプ) シングルレバー混合水栓 (吐水口引出式)
排水金具	床排水式ボトルトラップ／壁排水式ボトルトラップ／床排水／壁排水
使用圧力範囲	0.05 (流動圧) ~0.75MPa (静水圧) (給水圧力≥給湯圧力)

仕
様

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名： 洗面器		(品番：)
保証期間	取付日より2ヶ年	取付日
お客さま	おなまえ	年 月 日
	おところ	店名
	おでんわ () -	TEL () -

無効

- お客さまへ**
- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
 - ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう。）
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音・振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
- 保証書の期限切れまたは提示がない場合
- 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

商品のお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400
FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

*フリーダイヤルは携帯電話・
PHS・IP電話などではご利用
できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はお求めの取扱店または
LIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～19:00 (365日受付)

ホームページアドレス

<http://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

